

## 全体会合1：TICAD VI以降の開発動向と課題

- TICADV及びVIで打ち出した取組に関し、日本を含む参加者による取組の実施状況を確認。TICAD 7に向け、アフリカ諸国、パートナー国、国際機関、民間等による取組の加速化を確認。
- アフリカ大陸自由貿易地域設立協定（AfCFTA）の署名や南スーダン、アフリカの角を含む平和構築の動きを歓迎。保健、防災、気候変動等の課題への対応、人材育成及び制度構築、債務持続性（返済可能性、財政健全性、透明性）の確保やビジネス環境整備の重要性を確認し、ドナー側及びアフリカ側双方の取組を呼びかけ。

## 全体会合2：包摂的な成長に向けた経済構造転換

- 成長するアフリカ経済の好機を逃さず、経済多角化・産業化促進のため、零細・中小企業（MSMEs）振興、農業の生産性向上、科学・技術・イノベーション（STI）推進、エネルギー開発等の必要性を確認。債務持続性・財政健全性、ビジネス環境整備、技能開発等が民間投資促進の鍵。
- アフリカにおけるブルー・エコノミーの高い潜在性を認識。国連海洋法条約等に反映されたルールに基づく海洋秩序を通じた海洋安全保障・海賊対策等の重要性を強調。自由で開かれた日本とアフリカを結ぶ海洋の実現が地域全体の安定と繁栄の確保に資することを確認。

## 全体会合3：人間の安全保障のための健康で持続可能で安定した社会

- 人間の安全保障の実現に向け、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の推進及び気候変動の影響による自然災害への対応強化と防災、都市環境整備、教育や職業訓練を通じた若者と女性のエンパワーメントの重要性を確認。
- アフリカの平和と安定に向けて、紛争予防やアフリカ自身による課題解決の重要性を共有。

## 全体会合4：アフリカ域内及び域外との連結性強化

- アフリカの平和と繁栄のため、物理面（質の高いインフラ整備）、デジタル面（ICT等）、制度面（経済連携、税関円滑化等）、人材面（大学間交流、スポーツ等）の各側面について、アフリカ域内及び域外との連結性強化の重要性を確認。
- 国際港湾を含む主要なインフラが公正で開かれた透明な形で運営される必要性を認識。